

# R&O国際交流室

海外との友好交流に積極的に取り組んでいます！

R&O国際交流室(神原啓文 室長)では、海外からの視察受入をはじめ、国際交流活動に取り組んでいます。本年4月には、静岡県と浙江省の友好提携35周年を記念して来日した浙江省衛生計画生育委員会が静岡リハビリテーション病院を訪問。長年にわたる友好交流活動が評価され、神原室長に名誉顧問の称号が授与されました。視察受入の他に海外からの講師招聘、セミナーの開催、全職員対象の海外研修などを通じて、海外との友好交流を積極的にすすめています。

葉真巡視員から  
神原室長に名誉称号を授与



フランスの在宅医療システムや  
新しい認知症メソッドを学ぶ



豪州ゴールドコーストでの  
全職員対象の研修



海外セラピスト招聘による  
セミナー開催



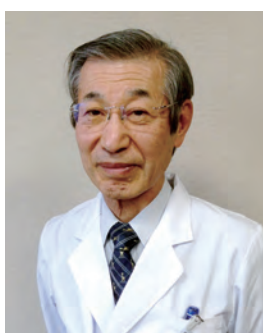
WAFCAT タイの子供の車いす  
現状プレゼン



バンコク病院  
日本人クリニック視察



私たちの願い



静岡リハビリテーション病院  
病院長  
神原 啓文

## タイ障害者福祉農場に車椅子寄贈

医療法人社団アール・アンド・オーでは、国際交流の拡大を受け「R&O国際交流室」を開設。情報交換、人事交流、相互支援などを目的に活動を開始しましたが、丁度、病院の車椅子総入れ替えに重なりました。そんな時、タイで働くR&O元職員の理学療法士から、「タイ障害者エンパワーメント協会」が計画中の修理センター用車椅子の寄贈を望んでいる旨連絡が入りました。先方に打診したところ、協会の藤原孝太郎顧問が早速来静、バンコクの北西にあるスパンブリー県の同協会の福祉農場が寄贈を要望されました。タイでは体に合った車椅子が入手し難く、障害者の就業支援として新設される同センターへの寄贈が決まりました。煩雑な輸出手続きも静岡の企業さん方の協力で、清水港からバンコク港に無事輸送出来ました。幸い、先方の施設の障害者の一人が技術者で、修理の指導も可能とのことでした。タイで贈呈式に出席致しますと、115台の車椅子はきれいに磨かれ、一部の車椅子は電動式に改良されており、タイの皆様の熱意で私達の願いが見事に花咲き、一同大いに感動浸らせて頂きました。

神原院長は京都大学病院時代のタイ人旧友Vichian(ビチャム)先生と1984年以来34年ぶりの再会をタイで果たされました。R&O国際交流室のメンバーもそのご縁で、Vichian(ビチャム)先生を囲んでタイ料理をいただきながら、教鞭をとられている大学病院の話などを伺いました。Vichian(ビチャム)先生は、現在Senior Consultant of the Faculty of Medicineとして「Siriraj Hospital, Mahidol University」で教鞭を取られているそうです。

車いす寄贈プロジェクトから、このような思いがけない再会もあり、人と人が出会い、ふれあい、絆を結びつなげていくといった国際交流の輪をこれからも世界に広げていく必要性を感じた出来事でした。



私たちの願い



医療法人社団 アール・アンド・オー  
理事長  
鈴木 延幸

視野を広げることで、  
大きく成長してほしい。

R&Oグループは昨年より車いすの入れ替えを進める中で、有効活用する方法はないかと検討していました。そんなとき、縁あって藤原さんと出会い、車いすが再利用されるだけでなく、それが障害者の雇用促進につながることを聞き、このプロジェクトの意義深さを感じました。

当グループでは海外の最新リハビリテーション事情を学ぶために、海外研修を実施しています。実際に足を運び、海外の文化に触れることで、日本での「当たり前」が海外では「当たり前」ではないことや、自分に足りないものはもちろんですが、良いところ気づかされることもあります。視野を広げることで、新しい発見や学びにつなげてほしい。そして、大きく成長してほしいです。



医療法人社団 アール・アンド・オーの確約

私たちの医療・介護は「**からだの自立**」・「**こころの自由**」を通して、  
生きるすばらしさを実感していただくことから始めます。

## R&O リハビリ病院グループ

**静岡リウマチ整形外科リハビリ病院**  
〒420-0821 静岡市葵区柚木90-1  
TEL.054-267-1000

**静岡リハビリテーション病院**  
〒420-0823 静岡市葵区春日2丁目12-25  
TEL.054-653-5858

**エスコートタウン静岡**  
〒420-0821 静岡市葵区柚木90-1  
TEL.054-267-1010

**静岡ホームメディカルケアセンター**  
〒420-0821 静岡市葵区柚木90-1  
指定通所リハビリテーション事業所 アースEarth  
TEL.054-267-1056  
指定訪問リハビリテーション事業所 テラTerra  
TEL.054-267-1057  
指定訪問看護ステーション事業所 ガイアGaia  
TEL.054-267-1065  
指定居宅介護支援事業所ケアマネステーション葵Aoi  
TEL.054-297-5203

**医療法人社団 アール・アンド・オー**  
〒420-0823 静岡市葵区春日2丁目12-25 2F  
静岡リハビリテーション病院2F  
TEL.054-653-2333 FAX.054-653-2334  
http://www.r-and-o.jp

**駿府の杜 クリニック**  
〒420-0853 静岡市葵区追手町9-28 興産ビル5F  
TEL.054-275-0057

**通所リハビリテーション 駿府の杜**  
指定通所リハビリテーション事業所  
指定介護予防通所リハビリテーション事業所  
〒420-0853 静岡市葵区追手町9-28 興産ビル6F・7F・9F  
TEL.054-275-2001

**R&O FOOD COMPANY, INC.**  
〒420-0813 静岡市葵区長沼622  
TEL.054-655-3131

**グランツ フィットネス  
グランツ スイミング  
介護予防デイ・グランツ**  
〒422-8036 静岡市駿河区敷地1-18-28  
TEL.054-260-7235

**R&O 地域医療・介護 ネットワーク室**  
〒420-0823 静岡市葵区春日2丁目12-25  
静岡リハビリテーション病院2F  
TEL.054-275-2755 FAX.054-275-2756

「アールアンドオー」で検索  
スマホ・携帯は右QRコードから！



アールアンドオー

検索

2018.8



2017  
R&O国際交流室  
レポート vol.1

車いす寄贈プロジェクトI

海を越えて  
車いすでつながる  
日タイの友好の絆

日・タイ修好130周年



— 生きるげんき、リハビリで。 —

R&O リハビリ病院グループ

# 絆のはじまりは1通のメールから…

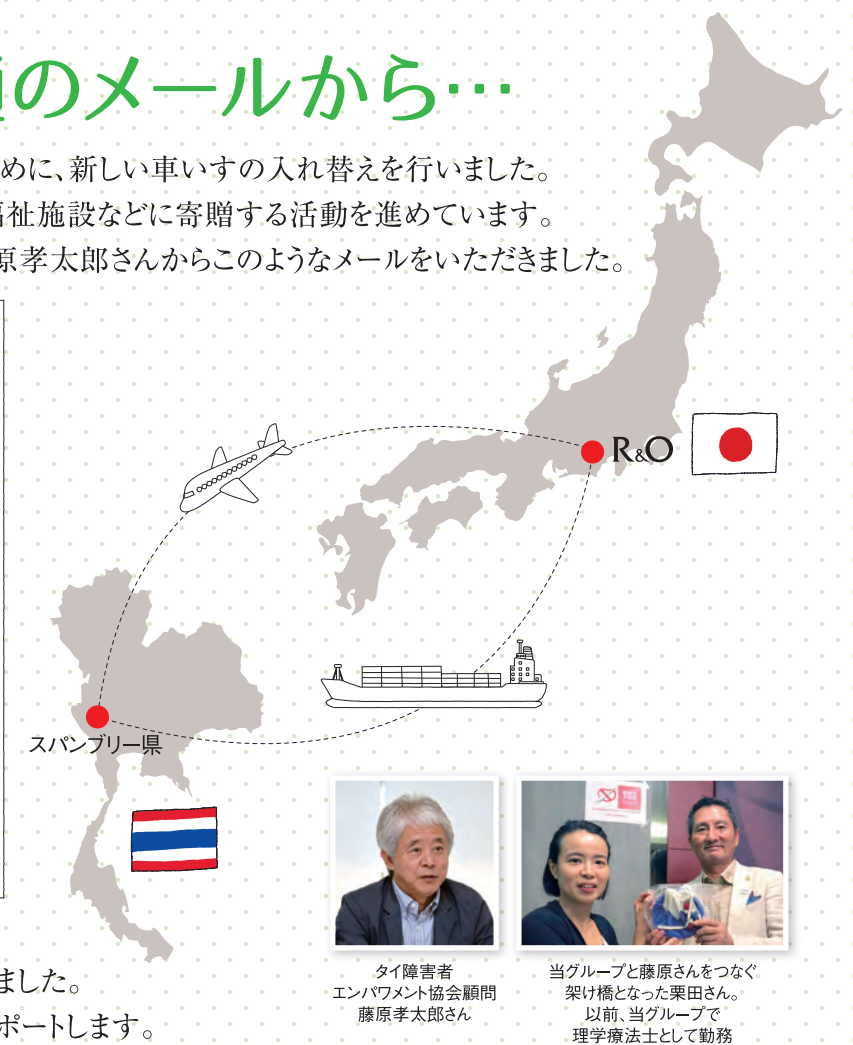
R&Oリハビリ病院グループでは入院環境改善のために、新しい車いすの入れ替えを行いました。これにより今まで使用していた車いすを国内外の福祉施設などに寄贈する活動を進めています。そんな折、タイ障害者エンパワメント協会顧問の藤原孝太郎さんからこのようなメールをいただきました。

私たちはタイのバンコク北西200kmにあるスパンブリー県のタイ障害者エンパワメント協会が運営している福祉農場です。現在、タイ全国の障害者の職業自立のための研修事業を計画しています。寄付していただいた車いすは点検や修理、整備の訓練のために使用して、その後、無償で配布します。本事業の目的は以下の通りです。

- ① 障害者自身が車いすを整備・修理する技術を身につけて自立すること。
- ② 買い替えができない障害者に整備・修理した車いすを寄付すること。
- ③ 研修事業終了後は、福祉農場内の地域の中核となる「車いすサービスセンター」を立ち上げること。

これをモデル事業として修理センターを全国に設置するよう国の機関に働きかけていきます。私たちには一台でも多くの中古車いすが必要です。何卒、ご協力をお願いいたします。

当グループではこの事業に賛同し、使っていた車いす115台をタイへ送らせていただきました。本誌ではタイに車いす115台が届くまでの経緯をレポートします。



タイ障害者エンパワメント協会顧問 藤原孝太郎さん  
当グループと藤原さんをつなぐ架け橋となった栗田さん。以前、当グループで理学療法士として勤務

# 03 115台目の車いす、空を飛ぶ！

ตราสารหนี้



01 R&O×藤原さんの初顔合わせ。プロジェクトが本格始動！



タイに送られる車いすとともに記念撮影

02 車いす114台、海を渡る



修理され磨かれた車いす

04 贈呈式招待



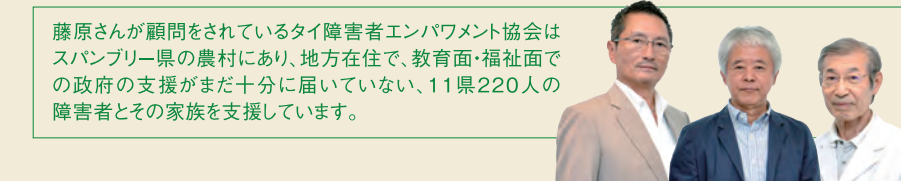
タイフェスティバルブースにて鈴木理事がプロジェクトを説明

05 タイフェスティバルin静岡 ブース出展



## 01 R&O×藤原さんの初顔合わせ。プロジェクトが本格始動！

一通のメールをきっかけに、本プロジェクトが本格始動。藤原さんがタイから駆け付けて、理事長や病院長と顔を合わせながら、本プロジェクトにかける思いをお聞きました。寄贈予定の車いすを見ていただき、詳細を打ち合わせしました。



藤原さんが顧問をされているタイ障害者エンパワメント協会はスパンブリー県の農村にあり、地方在住で、教育面・福祉面での政府の支援がまだ十分に届いていない、11県220人の障害者とその家族を支援しています。

## 02 車いす114台、海を渡る

114台の車いすを積載したコンテナ船は、6月9日に清水港を出発し、7月3日にバンコク港に到着。輸送にあたっては、個別の梱包用の段ボール箱を用意することからはじまり、積み込みや書類の申請など、大変な労力がかかりましたが、地元企業の株式会社ヤマシタコーポレーションや鈴与株式会社、SUZUYO (THAILAND) LTD.、U-Holdings IHQ (バンコク)、認定NPO法人 アジア車いす交流センター (WAFCA/WAFCAT) などの協力を得て、無事に海を渡ることができました。



ヤマシタコーポレーションのトラックで清水港へ  
コンテナ船でバンコク港へ  
鈴与倉庫で1台1台、段ボール箱に梱包  
港からスパンブリー県へ  
車いすをコンテナに積み込む  
タイ障害者エンパワメント協会に到着

## 03 115台目の車いす、空を飛ぶ

車いすの修理を指導するカムロンさんに車いすを直接手渡すために、115台目の車いすはR&O国際交流室のメンバーとともに飛行機に乗ってタイへ。カムロンさんは高齢者・障害者生活改善会の会長でもあり、ご自身も障害者であるエンジニア。彼が中心となって協会の障害者に指導をしながら修理を行います。



羽田空港からタイに飛び立つ車いす  
115台目の車いすをカムロンさんに手渡す

## 04 贈呈式招待

贈呈式ではタイ障害者エンパワメント協会会長のクラブ氏をはじめ、スパンブリー県行政局長、医療関係者、福祉農場で働く障害者の皆さんがあたたかく迎えてくれました。何より感動したのは、車いすがピカピカに磨かれ、一つひとつにリボンが飾られていたこと。彼らの思いが伝わってきました。式後は世界遺産のアユタヤ遺跡など観光案内もしていただきました。



福祉農場で働く障害者の皆さんと  
クラブ会長  
クラブ会長ご令嬢  
丁寧に磨かれた車いす  
修理されグレードアップした車いす  
アユタヤ遺跡観光  
贈呈式に集まった障害者の皆さん

## 05 タイフェスティバルin静岡 ブース出展

8月26日(土)・27(日)、青葉シンボルロードで開催された「第8回タイフェスティバルin静岡」にブースを出展し、本プロジェクトを紹介しました。当日はバンサーン・ブンナーク駐日タイ大使や上川陽子法務大臣もブースを訪れ、プロジェクトの写真を見ていただきました。バンサーン・ブンナーク駐日タイ大使と熱い握手をかわす鈴木理事



バンサーン・ブンナーク駐日タイ大使、上川陽子法務大臣、鈴木理事  
「第1回 アジア子ども絵画展」への募金箱  
募金のお礼の障害者手作りストラップ

「第1回 アジア子ども絵画展」への募金に寄付  
タイのバンコクにて障害児が描いた絵を展示する「第1回 アジア子ども絵画展」が開催されるにあたり(10/31～11/5)、タイフェスティバルのブース内に募金箱を設置しました。皆さまから寄せられた36,288円はWAFCAの理事である藤原さんに寄付。アジア諸国に障害者支援の輪を広げる活動などに役立てられます。今回のプロジェクトをきっかけに、タイとの絆が広がっています！

## 06 各地の障害者の皆さんにお届け。国際連携のきっかけになりますように。

寄贈した車いす115台は、式典に参加していた障害者の皆さんに持ち帰っていただき、残る車いすはエンパワメント協会が修理を終えた後、各地の障害者に手渡される予定です。贈呈式後、本プロジェクトの架け橋となってくれた元タイ障害者エンパワメント協会スタッフである真田藤子さんより、お礼のメールをいただきました。

この度はタイ遠隔地の障害者草の根団体に車いすをお贈りくださり、心より感謝を申し上げます。地方の障害者を取り巻く環境は厳しく、教育・福祉ともに、正当な権利を行使できるに至っていません。この度のご支援が地方の障害者にとって真の有益な福祉の振興、国際的連携のきっかけになりますことを心より願っています。そして、今後の皆さまの日タイ連携事業がよりたくさんの方々に希望をもたらしますことをお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。